

平成23年行政事業レビューシート(外務省)

<b>事業名</b>	邦人援護担当官派遣等経費		<b>担当部局庁</b>	領事局		<b>作成責任者</b>		
<b>事業開始・終了(予定)年度</b>	平成19年度開始		<b>担当課室</b>	海外邦人安全課		課長 一方井 克哉		
<b>会計区分</b>	一般会計		<b>施策名</b>	IV-2 海外邦人の安全確保に向けた取組				
<b>根拠法令 (具体的な条項も記載)</b>	外務省設置法第4条第9項		<b>関係する計画、通知等</b>					
<b>事業の目的 (目指す姿を簡潔に。3行程度以内)</b>	在外公館から離れた遠隔地や兼轄地等で事件事故に遭遇した邦人の援護や拘束・拘禁された邦人の領事面会等を実施するために在外公館から職員を派遣する経費。また、渡航情報(危険情報等)の改訂を目的とした現地情勢把握のために職員を派遣する経費。							
<b>事業概要 (5行程度以内。別添可)</b>	在外公館から離れた遠隔地や兼轄地等において、海外渡航者や海外在留邦人が事件・事故に遭遇した場合及び邦人が違法行為等により拘束・拘禁された場合には、必要な邦人援護(現地官憲や病院等との調整、領事面会の実施等)を領事が直接現地へ赴き実施する必要がある。特に拘束・拘禁中の邦人に対しては、信書や電話等による通信手段に加え、事件概要の確認、被拘禁者の処遇と健康状態の確認と対策、弁護士や通訳の斡旋、家族等関係者への通報と伝言等を行うために、領事が遠隔地にある拘置所等に積極的に赴く必要がある。また、外務省では海外に渡航する邦人に向けて渡航情報等の情報提供を行っており、遠隔地にある現地情報についても直接調査する必要がある。							
<b>実施方法</b>	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 業務委託等 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 貸付 <input type="checkbox"/> その他							
<b>予算額・執行額 (単位:百万円)</b>	予算の状況	当初予算	20年度	21年度	22年度	23年度	24年度要求	
		補正予算	5	5	5	5	5	
		繰越し等	0	0	0	0		
		計	5	5	5	5	5	
	執行額	3	5	2				
	執行率(%)	74.7	96.8	47.6				
<b>成果目標及び成果実績 (アウトカム)</b>	成果指標			単位	20年度	21年度	22年度	目標値 (23年度)
	特に遠隔地で拘束・拘禁された邦人に対して領事面会を行うことに努めたことで、必要な邦人援護に努めた。		成果実績	件	38	38	37	37
		達成度	%	100	100	100		
<b>活動指標及び活動実績 (アウトプット)</b>	活動指標			単位	20年度	21年度	22年度	23年度活動見込
	遠隔地で発生する邦人援護事案に対応するため担当官を派遣。		活動実績 (当初見込み)	人	58	86	77	—
<b>単位当たりコスト</b>	(60, 826円/1出張案件)		算出根拠	平成22年度実績から算出。 執行額(2, 250, 568円)÷執行件数(37件)=約60, 826円				
<b>平成23 (単位:千円) 年度予算内訳</b>	<b>費目</b>	23年度当初予算	24年度要求	主な増減理由				
	在外職員旅費	4,241	4,458					
	車両借上費	534	504					
	計	4,775	4,962					

事業所管部局による点検			
	評価	項目	特記事項
目的・予算の状況	—	広く国民のニーズがあり、優先度が高い事業であるか。	
	○	国が実施すべき事業であるか。地方自治体、民間等に委ねるべき事業ではないか。	
	—	不用率が大きい場合は、その理由を把握しているか。	
資金の流れ、使途・費目	—	支出先の選定は妥当か。競争性が確保されているか。	
	○	単位あたりコストの削減に努めているか。その水準は妥当か。	
	○	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	—	資金の流れの中間段階での支出は合理的なものとなっているか。	
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	
活動実績、成果実績	—	他の手段と比較して実効性の高い手段となっているか。	
	—	適切な成果目標を立て、その達成度は着実に向上しているか。	
	○	活動実績は見込みに見合ったものであるか。	
	—	類似の事業がある場合、他部局・他府省等と適切な役割分担となっているか。	
	—	整備された施設や成果物は十分に活用されているか。	
点検結果		<p>●在外公館から各事案毎に具体的な出張理由や必要性及び金額等を明記した稟請を行った上で、本省にて節約できる部分がないか出張人数・日程が妥当か等審査し、本省が認める場合に限り支出している。</p> <p>●遠隔地において発生した援護案件への迅速な対応及び遠隔地における邦人拘禁者の健康状態や収監状況の確認のためには不可欠な経費となっており、近年の援護件数の増加に伴い、さらに拡充の見直しを検討する。</p>	
予算監視・効率化チームの所見			
現状通り	—		
上記の予算監視・効率化チームの所見を踏まえた改善点(概算要求における反映状況等)			
—			
補記 (過去に事業仕分け・公開プロセス等の対象となっている場合はその結果も記載)			

外務省  
2.2百万円

出張者  
37件  
2百万円

【競争性のない随意契約】  
在外8公館所在地における  
現地業者 8件  
0.2百万円  
車両借上

資金の流れ  
(資金の受け取り先が何を  
しているかについて補足する)(単  
位:百万円)

**費目・使途**  
 (「資金の流れ」  
 においてブロッ  
 クごとに最大の  
 金額が支出され  
 ている者につい  
 て記載する。費  
 目と使途の双方  
 で実情が分かる  
 ように記載)

A.			E.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
計		0	計		0
B.			F.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
計		0	計		0
C.			G.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
計		0	計		0
D.			H.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
計		0	計		0

支出先上位10者リスト

A.

	支 出 先	業 務 概 要	支 出 額 (百万円)	入札者数	落札率
1	出張者A	邦人援護のための出張旅費	0.1		
2	出張者B	邦人援護のための出張旅費	0.1		
3	車両借り上げ現地業者	邦人援護のめの出張に伴う車両借り上げ	0.1		
4	出張者C	邦人援護のための出張旅費	0.1		
5	出張者D	邦人援護のための出張旅費	0.1		
6	出張者E	邦人援護のための出張旅費	0.1		
7	出張者F	邦人援護のための出張旅費	0.1		
8	出張者G	邦人援護のための出張旅費	0.1		
9	出張者H	邦人援護のための出張旅費	0.1		
10	出張者I	邦人援護のための出張旅費	0.1		